

mitsubishi

三菱給湯専用電気温水器用リモコン

形名 RMC-8

形名コード
67C502

工事説明書

※適用機種は、当社カタログ・据付工事説明書等に記載してあります。

- リモコンは、当社電気温水器専用です。
- リモコン工事は、必ず電源ブレーカーを「切」にしてから行なってください。
- リモコン本体を分解しないでください。
- リモコン線は、当社別売部品（形名:LM-620またはLM-650）を設置条件に合わせて切断してご使用ください。
- リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上に置かないでください。スピーカー部（左上）に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。

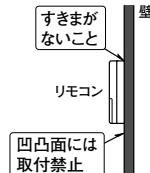
付属品

木ねじ	Mねじ	オールプラグ	Y型端子	操作説明ラベル
2個	2個	2個	2個	1個

【お願い】●操作説明ラベルはリモコンの近傍に貼り付けてください。

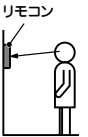
取付時の注意

- リモコンと壁の間にすきまがないように取り付けてください。
- リモコン線が短絡しないように施工してください。



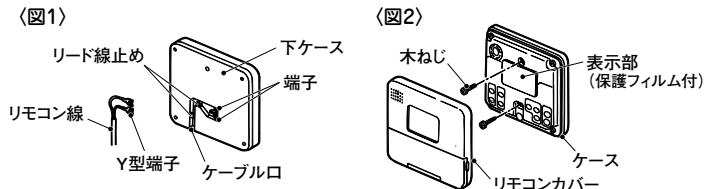
取付場所の選定

- リモコンは必ず屋内の平らな面に取付けてください。（凹凸があると取付時に変形して誤動作することがあります。）
- 取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ（目の位置より少し下側）を選んでください。
- リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取り付けしないでください。
 - ガステーブルの近くなど高温（45℃以上）になるところ
 - 浴室など湿気の多いところ
 - 直射日光のあたるところ
 - 湯気や水しぶきや油のかかるところ
 - 幼児の手が届くところ
- リモコン線の長さが20m以内になる場所としてください。



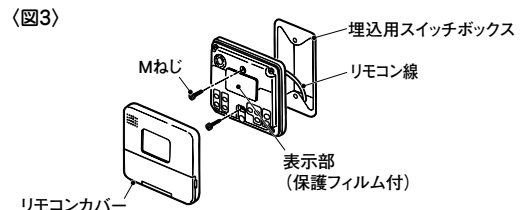
壁面に取り付ける場合（露出配線）

- 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く（図1）
 - リモコン線を付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコン線をリード線止め（図1）
- （参考）Y型端子用手动式圧着工具
●日本圧着端子製造株式会社製 YHT-2210（JIS 9711規格品）
- 【お願い】●リモコン線が短絡しないように施工してください。
- マイナスイドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす
 - リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する（図2）
- 壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴（φ6mm、深さ約30mm、2箇所）をあけオールプラグを打ち込んでから木ねじ2本でリモコンケースを固定します。
- 【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
- 表示部の保護フィルムをはずす
 - リモコンカバーをケースにはめ、リモコン線を壁に固定して配線する（図2）



リモコン線を壁中に通す場合（埋込配線）

- リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス（1個用）を取付けておきます。
 - リモコン線を温水器まで配線しておきます。
- 埋込用スイッチボックスから出ているリモコン線を付属のY型端子に圧着して、端子に接続する（図1）
- 【お願い】●リモコン線が短絡しないように施工してください。
- マイナスイドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす
 - リモコンケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する（図3）
- 【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
- 表示部の保護フィルムをはずす
 - リモコンカバーをケースにはめる



リモコン線と温水器の接続工事

- リモコンの端子は無極性です。
- リモコン線を温水器のリモコン接続端子に接続するときは、制御用100Vと200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。

- リモコン線の芯線を2つ折りにして、リモコン接続端子に圧着する

引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。

（参考）接続端子用手动式圧着工具：日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216

- ケーブル押えでリモコン線を固定する

- 【お願い】●リモコン線どうしの中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
- リモコン線は電源線と離して（約5cm）配線してください。近いとノイズによる誤動作の原因になります。
 - リモコン線は、引っ張っても端子に直接張力がかからないようにケーブル押えで確実に固定してください。
 - 電源線とリモコン線を同一パイプ内で配線しないでください。リモコンが誤動作する場合があります。

